

問1 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 2. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 | 3. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 | 4. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 |
|--|---|--|---|

問2 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。 | 2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。 | 3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。 | 4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。 |
|--|---|---|---|

問3 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 2. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 | 4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 |
|--|---|--|---|

問4 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 | 2. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 3. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 | 4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|

問5 縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。 | 2. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。 | 3. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。 | 4. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。 |
|--|---|--|---|

問6 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。 | 2. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。 | 3. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。 | 4. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。 |
|--------------------------------------|---|--|---|

問7 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。 | 2. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。 | 3. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。 | 4. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。 |
|--|---|--|---|

問8 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。 | 2. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。 | 3. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあつたことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。 | 4. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。 |
|--|--|--|---|

問9 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 石包丁 | 2. 銅鐸 | 3. 土偶 | 4. 埴輪 |
|--------|-------|-------|-------|

問10 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須恵器 | 2. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器 | 3. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器 | 4. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪 |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|

問11 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|---------|----------|--------|
| 1. 蝦夷（えみし） | 2. 琉球民族 | 3. アイヌ民族 | 4. 渡来人 |
|------------|---------|----------|--------|

問12 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 | 2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 3. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 4. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 |
|---|--|--|---|